

# 平成24年度放射線安全取扱部会年次大会 (第53回放射線管理研修会)のお知らせ(6)

## 平成24年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員会

平成24年度の放射線安全取扱部会年次大会は、中国・四国支部が中心となって松山市で開催いたします。

今回の年次大会では、「念ずれば花ひらく」のメインテーマの下、福島第一原子力発電所事故について学び、その復興にどのような貢献ができるかを考えたいと思います。また、日本アイソトープ協会が公益法人化したことと関連して、私たちが直接、社会に対してどのように貢献していかのを探りたいと思います。その中には一般の人への放射線教育も入ってきます。さらに、分子イメージングが放射線を利用した研究の未来を開く可能性を持っており、私たちの施設を今後どのように発展させるのかについても探りたいと考えています。

このように私たちの思いは大変欲張りですが、実行委員一同、全力で取り組んでおりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

- 開催日：11月8日(木)、9日(金)
- 会場：松山市総合コミュニティセンター  
(<http://www.cul-spo.or.jp/comcen/>)  
松山市湊町 7-5  
(JR 松山駅より徒歩 10分)
- メインテーマ：念ずれば花ひらく
- 参加費：10,000 円 (交流会参加費込)  
5,000 円 (年次大会のみ参加)  
参加当日に受付にてお手続きください。

### 会場レイアウト

#### 1 階平面図

コミュニティプラザ



#### 3 階平面図

(コミュニティプラザ)



## 主任者 コーナー

カメラホールを、部会総会、特別講演、シンポジウムを開催するメイン会場とし、ポスター発表、機器展示及び相談コーナーはカメラホール1、2階のロビーで行います。交流会はコミュニティプラザ3階の大会議室で行います。参加受付は、カメラホール入口のロビーに設置いたします。

### プログラムのハイライト

#### \*特別講演Ⅰ (11月8日 11:00~12:00)

##### 「放射線安全行政の現状」(仮題)

例年通り、文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全課放射線規制室長 南山力生氏にご講演いただきます。

#### \*特別講演Ⅱ——一般公開 (11月8日 16:45~17:45)

##### 「“念ずれば花ひらく”の詩人坂村真民の人生と詩の魅力について」

昨年の東日本大震災は、日本人の生き方とその価値観に大きな影響を与え、自分自身の生きる拠り所となるものを見つけ出し、本当の豊かさとは何かを真剣に考える人が増えてきています。坂村真民記念館館長の西澤孝一氏に、坂村真民の詩とその生き方を通して、私たち一人一人が、自分の生き方を見つめ直し、新たな時代に向かって生きてゆくことを考えるときに、そのきっかけを作ってくれるヒントをご講演いただきます。この特別講演Ⅱは一般公開のプログラムとし、多数の一般の方々にもご参加いただくようにしたいと考えています。

#### \*特別講演Ⅲ (11月9日 9:30~10:30)

##### 「放射線教育の必要性について」

放射線教育フォーラムなどでの放射線教育の実践例、また実践した際に見えてきた問題点と、その問題点を克服して今後どのように放射線教育を行うべきか、学習指導要領の改訂もありましたので、「中学校等の先生に向けての放

射線教育が重要である」というような内容で日本アイソトープ協会の有馬朗人会長から講演いただきます。

#### \*シンポジウムⅠ「福島第一原子力発電所事故からの復興」(11月8日 14:00~16:35)

福島第一原子力発電所事故からの復興を願い、除染活動、瓦礫処理、医療関係、人材育成の観点からシンポジウムを開催します。パネルディスカッションでは、福島第一原子力発電所事故からの復興に向けて放射線安全取扱部会ができることを探りたいと思います。

##### 1) 福島県郡山市における除染支援

實吉敬二氏 (東京工業大学)

##### 2) 東日本大震災における災害廃棄物処理

貴田晶子氏 (愛媛大学)

##### 3) 福島第一原子力発電所事故後の被ばく医療—特に放射線専門家の役割について—

山本尚幸氏 (原子力安全研究協会)

##### 4) 南相馬市における環境放射能調査と広島大学リーディングプログラム

静間 清氏 (広島大学)

#### \*シンポジウムⅡ「一般の方への放射線教育」(11月9日 10:40~12:10)

福島第一原子力発電所事故への対応とも関係して、一般の方への放射線教育は重要なテーマです。また、学習指導要領が改訂され、中学校では約30年ぶりに理科でエネルギー資源の一環として放射線の性質やその利用について学習指導を行うことになりました。放射線について初めて教える先生方も多いと考えられ、先生方への支援も私たちができることです。このように、事業所の外での専門家としての対応に関係した内容を盛り込んだシンポジウムを開催します。パネルディスカッションでは、一般の方への放射線教育に対して射線安全取扱部会ができることを探りたいと思います。

##### 1) 伝えるべきことは何か—私の経験から—

馬場 護氏 (東北大学)

- 2) 三朝温泉の温泉水を利用した放射線教育  
—出張講義や教員セミナーを実施して—  
中村麻利子氏 (鳥取大学)

- 3) 放射線の初等中等教育に対する日本アイ  
ソトープ協会の活動  
須藤幸雄 (日本アイソトープ協会)

\* シンポジウムⅢ「分子イメージング」(11月  
9日 13:20~14:40)

非密封放射性同位元素の使用量が減り、廃止  
を考えておられる施設があるかもしれません。  
そのような状況の中、「分子イメージング」は、  
施設利用者にとって大変魅力があります。そし  
て私たちの施設にとっても大変重要な位置づけ  
となります。そこで、分子イメージングに関し  
て放射線施設の安全管理と運営の立場からのシ  
ンポジウムを開催します。

- 1) 分子イメージング技術の向上のために  
—教育プログラムの構築と実践—  
久保直樹氏 (北海道大学)
- 2) 感染症分子イメージングセンターの立ち  
上げ  
松田尚樹氏 (長崎大学)
- 3) 動物用 PET/CT 施設の運営と放射線安全  
管理  
三好弘一氏 (徳島大学)
- 4) 小型サイクロトロンを有する施設の運営  
と放射線安全管理  
小野俊朗氏 (岡山大学)

ポスター発表 (カメラホール2階ロビー)

ポスター発表は、皆様が直接交流できる場  
です。多くの方々にご来場いただき、活発な討論  
や情報交換をしていただけたらと思います。

ポスター展示時間:

11月8日 12:00~11月9日 13:00

ポスター発表時間:

奇数ポスター番号: 11月8日 12:40~13:20  
偶数ポスター番号: 11月8日 13:20~14:00

機器展示 (11月8日 9:30~17:00 及び 11月  
9日 9:00~14:00/カメラホール  
1階ロビー)

放射線関連製品のメーカーからの展示があ  
ります。時間の許す限りゆっくりとご覧くだ  
さい。

相談コーナー (11月8日 12:00~14:00/キ  
ャメラホール2階ロビー)

日頃の放射線安全管理業務での疑問やお困り  
のことなどについて、ご相談をお受けします。  
相談員には法令検討専門委員会や各支部のベテ  
ランの方をお願いする予定です。お気軽にお立  
ち寄りください。

交流会 (11月8日 18:00~20:00/大会議室)

交流会は大会会場である松山市総合コミュニ  
ティセンター内のコミュニティプラザ大会議室  
で開催します。現在、様々な計画を進めており  
ます。参加された皆様の交流を深める絶好の  
機会です。多くの方の参加をお待ちしており  
ます。

【連絡先】

○放射線安全取扱部会事務局

日本アイソトープ協会学術・出版課

☎113-8941 東京都文京区本駒込 2-28-45

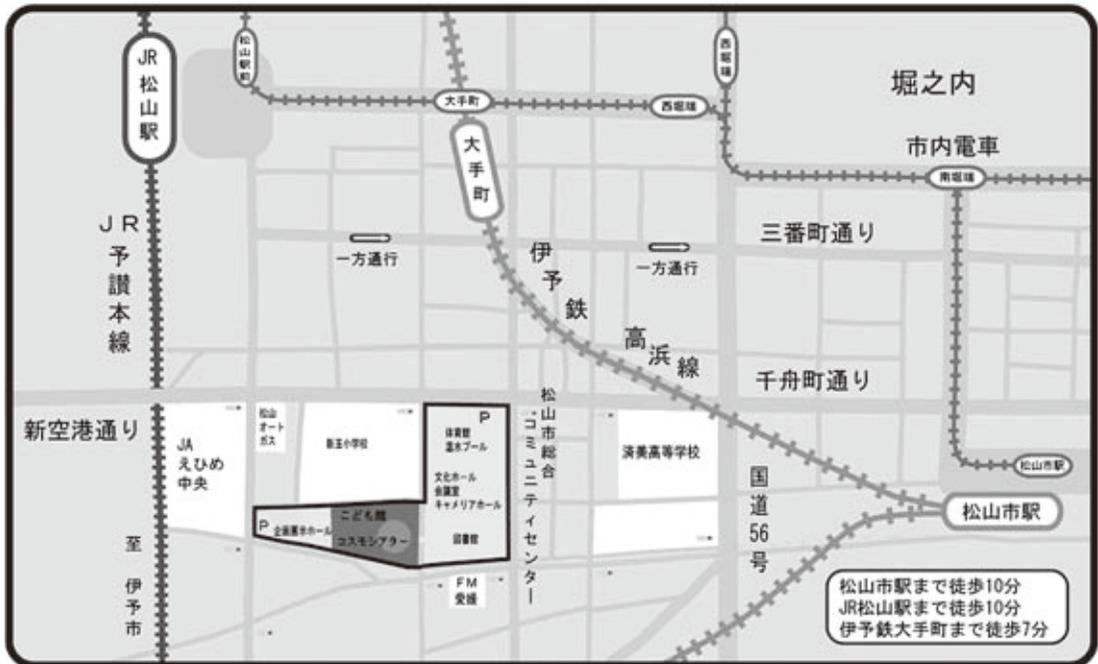
☎03-5395-8081 FAX 03-5395-8053

E-mail gakujuitsu@jrias.or.jp

## 主任者 コーナー

大会会場へのアクセス

### 松山市総合コミュニティセンター周辺詳細地図



年次大会プログラム

○第1日目 11月8日(木曜日)

キャメリアホール		
9:00～	参加受付 (キャメリアホール1階ロビー)	
10:00～11:00	大会実行委員長挨拶 部会総会 部会長挨拶 支部活動報告及び本部委員会報告, 質疑・討論	機器展示 (キャメリアホール1階ロビー) 9:30～17:00 書籍コーナー (キャメリアホール1階ロビー)
11:00～12:00	特別講演 I 座長: 中島 覚氏 (広島大学自然科学研究支援開発センター) 「放射線安全行政の現状」(仮題) 南山力生氏 (文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全課放射線規制室長)	ポスター展示 (キャメリアホール2階ロビー) 12:00～17:00
12:00～14:00	昼食休憩 (この間, ポスター発表, 相談コーナー)	相談コーナー (キャメリアホール2階ロビー)
14:00～16:10	シンポジウム I 「福島第一原子力発電所事故からの復興」 座長: 野村貴美氏 (東京大学大学院工学系研究科) ①「福島県郡山市における除染支援」 實吉敬二氏 (東京工業大学放射線総合センター) ②「東日本大震災における災害廃棄物処理」 貴田晶子氏 (愛媛大学農学部) ③「福島第一原子力発電所事故後の被ばく医療—特に放射線専門家の役割について—」 山本尚幸氏 (公益財団法人原子力安全研究協会) ④「南相馬市における環境放射能調査と広島大学リーディングプログラム」 静間 清氏 (広島大学大学院工学研究院)	12:00～14:00 ポスター発表 (キャメリアホール2階ロビー) 12:40～14:00 ・奇数ポスター番号: 12:40～13:20 ・偶数ポスター番号: 13:20～14:00
16:15～16:35	パネルディスカッション 「福島第一原子力発電所事故からの復興に向けて放射線安全取扱部会ができることを探る」 座長: 野村氏 實吉氏, 貴田氏, 山本氏, 静間氏	
16:45～17:45	特別講演 II (一般公開) 座長: 増田晴造氏 (愛媛大学総合科学支援センター) 「“念ずれば花ひらく”の詩人坂村真民の人生と詩の魅力について」 西澤孝一氏 (坂村真民記念館館長)	
18:00～20:00	交流会 (大会議室)	

## 主任者 コーナー

### ○第2日目 11月9日(金曜日)

キャメリアホール		
9:00～	参加受付 (キャメリアホール 1階ロビー)	機器展示 (キャメリアホール 1階ロビー)
9:30～10:30	特別講演Ⅲ 座長：宮越順二氏 (京都大学生存圏研究所) 「放射線教育の必要性について」 有馬朗人 (日本アイソトープ協会会長)	9:00～14:00
10:40～11:55	シンポジウムⅡ「一般の方への放射線教育」 座長：中西 徹氏 (就実大学大学院医療薬学研究科) ①「伝えるべきことは何か—私の経験から—」 馬場 護氏 (東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター) ②「三朝温泉の温泉水を利用した放射線教育—出張講義や教員セミナーを実施して—」 中村麻利子氏 (鳥取大学技術部工学・情報系部門) ③「放射線の初等中等教育に対する日本アイソトープ協会の活動」 須藤幸雄 (日本アイソトープ協会)	ポスター展示 (キャメリアホール 2階ロビー) 9:00～13:00 書籍コーナー (キャメリアホール 1階ロビー)
11:55～12:10	パネルディスカッション「一般の方への放射線教育に対して放射線安全取扱部会ができることを探る」 座長：中西氏 馬場氏, 中村氏, 須藤	
12:10～13:20	昼食休憩	
13:20～14:40	シンポジウムⅢ「分子イメージング」 座長：小野俊朗氏 (岡山大学自然生命科学研究支援センター) ①「分子イメージング技術の向上のために—教育プログラムの構築と実践—」 久保直樹氏 (北海道大学アイソトープ総合センター) ②「感染症分子イメージングセンターの立ち上げ」 松田尚樹氏 (長崎大学先導生命科学研究支援センター) ③「動物用 PET/CT 施設の運営と放射線安全管理」 三好弘一氏 (徳島大学アイソトープ総合センター) ④「小型サイクロトロンを有する施設の運営と放射線安全管理」 小野俊朗氏 (岡山大学自然生命科学研究支援センター)	
14:40～15:00	次大会紹介, アピール採択, 閉会	